

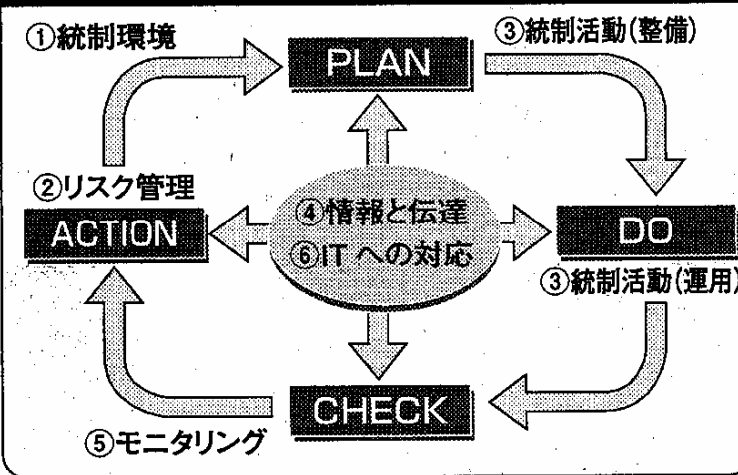
プロフェッショナル訪問

日本マネジメント総合研究所（東京都大田区、戸村智憲理事長、03・3750・8722）は、内部統制に関するソリューションを提供するコンサルティング業を中心に展開するプロ集団。「『内部統制』と突きつけられると、どう対応してよいかかわからず、難解に考えてしまう人が多い」と戸村理事長は内部統制に対する理解度や浸透度の低さを指摘する。

解決策の一つとして戸村理事長が監修し、日本経営協会総合研究所（東京都渋谷区）から販売しているのが内部統制調査サービス「内部統制意識調査」。日本の内部統制のフレームワークを示した「日本版COSOモデル」に準拠した独自の調査方法で、従業員の理解度や実行度を調査。内部統制の四つの目的と六つの構成要素に沿って、結果を点数化するとともに、達成度を赤・青・黄色に色分けして提示。課題や具体的な解決策も提案する。内部統制報告制度や新会社法に対応しており「専門的な知識がなくても、何が問題なのかが視覚的に分かる。対策が立てやすく、部署同士の比較や注意喚起ツールとしても使える」（戸村理事長）。料金は120万円から。

戸村理事長は企業が持続的に成長するには、もはや収益の戦略だけでは成功しないと断言する。「飛行機のフライトと同じ。コックピットに経営者、左の翼に収益戦略の、右の翼にリスク

提唱するJ-SOX法対応型バランス・スコア・カードのPDCA概念図



「内部統制」を視覚化

管理というバランスが大切。収益戦略に傾倒し、急激に売り上げを伸ばしたとしても、一方のエンジンが停止すれば企業は失墜する。リスク管理を怠って、姿を消してしまった企業を見れば「明らかなこと」と内部統制は、企業力を測る一つのものさしであることを強調する。

戸村理事長は国連内部監査ミッション・エキスパートなどを経て、03年3月に同研究所を設立した。まだ日本で浸透し切れていない、内部統制の重要性を分かりやすく説明するべく、全国で年間100本以上の講演会をこなす。「『内部統制』に『市民権』を与えるのが使命だと思っている」と今後も精力的に活動を続ける。

日本マネジメント総合研究所

<取材内容>

日本初の内部統制意識調査

独自開発で世界初のSRBスコアカード(SOX法・内部統制対応型COSO-ERM志向の第4世代バランス・スコアカード)

戸村の紹介 など